

▶ 寄付・募集要項

寄付募集目的	教育研究環境の整備と諸活動の資金	募集期間	随時
寄付金の額	個人 一口1万円(※金額に関わらずありがたく拝受いたします) 法人 金額の定めなし		
税制上の優遇措置	個人 本学への寄付金は特定公益増進法人への寄附として所得控除を受けることができます。 法人 特定公益増進法人に対する特定寄付制度及び私学事業団の受配者指定寄付金制度をご利用いただけます。受配者指定寄付金制度を利用される場合には財務管理課までご連絡ください。		
芳名録	寄付者のご芳名を広報誌と Web 芳名録に掲載予定(希望者のみ)。		
高額ご寄付者	本学寄付制度が創設された2012年度からのご寄付累計額が10万円以上の方々には感謝状を送付予定。高額寄付者の Web 芳名録にご芳名を掲載予定(希望者のみ)。		
寄付申込書	同封の専用払込用紙やインターネットでの申込で寄付申込を兼ねており別途に寄付申込書は不要です。		

▶ お申込方法

寄付金のお申込みは、1.「専用払込取扱票」、2.「クレジットカード決済」、3.「現金」又は「現金書留」の3通りがあります。

1.「専用払込取扱票」を使って金融機関からの振込の場合

同封の専用払込取扱票で下記の記入例を参考にご記入頂き、金融機関又はゆうちょ銀行から振込みをお願いします。ゆうちょ銀行又は北洋銀行からのお振込は、振込手数料が無料です。

2. クレジットカードを使ってご寄付する場合

右記のURL、又はQRコードから本学HPにアクセスし手続きを進めてください。

クレジットカードによるご寄付の URL :
<https://fundexapp.jp/fujijoshi/entry.php>



3. 現金又は現金書留の場合

現金の場合は、16条キャンパスの財務管理課へお持ち込みください。現金書留の場合は、郵送の前に財務管理課までご連絡ください。

▶ 記入例(ゆうちょ銀行、銀行をご利用の場合)

下記のとおり、①～⑩を漏れのないようにご記入ください。

ゆうちょ銀行(郵便局)以外をご利用の場合ここまでご記入ください

ゆうちょ銀行(郵便局)をご利用の場合ここまでご記入ください

<p>02 払込取扱票(振込通知書) 通常払込料金加入者負担</p> <p>口座記号番号 027807 金額 30000</p> <p>藤女子大学</p> <p>北洋 北七条</p> <p>藤女子大学寄付金 申込書</p> <p>藤 花子</p> <p>〒001-0016 北海道札幌市北区北16条西2丁目1-1</p> <p>電話番号 011-736-0311 E-mail fujikifu@fujijoshi.ac.jp</p> <p>藤女子大学(英語文化学部)</p> <p>英語文化学 科 2014(卒業)</p>	<p>振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受取書)</p> <p>口座記号番号 027807 金額 30000</p> <p>藤女子大学</p> <p>北洋 北七条</p> <p>藤 花子</p>	<p>8 振込依頼書</p> <p>2023年12月1日 振込日 振込手数料 9</p> <p>北洋銀行 北七条支店 ※金額 30000</p> <p>普通 口座番号 3989004</p> <p>藤女子大学</p> <p>藤 花子</p> <p>〒001-0016 北海道札幌市北区北16条西2丁目1-1</p> <p>電話番号 011-736-0311</p> <p>【振込金融機関へのお問い合わせ先】</p> <p>銀行受領印</p>
--	---	--

ご寄附のお願い



2025年に藤学園は100周年

～ひとりひとりの 咲くべき花を 咲かせよう
うつくしく やさしく しなやかに～

(藤学園の建学の精神)

おかげさまで藤学園は、2025年に学園創設100周年を迎えます。本学の淵源を辿りますと、1914年、当時のカトリック札幌教区長ヴェンセスラウス・キノルド司教が女子教育の担い手となる人材の派遣を故国ドイツに要請したことに遡ります。

大学開設以来、送り出した卒業生は、創成期の藤女子専門学校と藤女子短期大学をあわせると39,000名余りにのぼりあらゆる分野で活躍しています。

これからも本学は創立の意思を継ぎ女性の全人的教育を使命とし、豊かな人間性と知性をもって行動する女性を育成してまいります。

経済情勢の厳しい折、まことに心苦しい次第でございますが、本学の充実発展のため、何卒ご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。





食物栄養学科協働

徳光珈琲 ドリップコーヒー3袋

先着 100 名様
寄附金額 1 万円コース

石狩に店舗を構える徳光珈琲と
食物栄養学科のコラボレーション企画。

食物栄養学科 4 年生が
ラベルをデザインしました。



本学 HP でもご紹介しています。こちらからどうぞ



「藤」名入り 丹後ちりめん袱紗

寄附金額 4 万円コース

ちりめん(絹)ならではの豊かな風合いと
柔らかな手触りの上品なふくきです。

藤の花の色をイメージした
薄紫とピンクの
2 色をご用意しました。

返 礼 品

新たに二つの産学協働した製品が返礼品に加わりました
学生と企業の方々的心を込めて作りしました

返礼品の数には限りがあるためなくなり次第、他の商品になりますことをご了承ください。

- 今後、ご寄付を頂きました方々は、本学広報誌「広報藤」に加えて本学ホームページの寄付金サイトにご芳名を掲載する予定です。※お名前の公表を希望されない方につきましては掲載いたしません。
- 本学寄付金制度が創設された 2012 年からご寄付の総累計額が一定の金額を超えた方々に、感謝状を送付させていただき準備をすすめています。



The St Monica
セントモニカ

大学で摘み取ったの藤の花に
ハマナスの豊かな香りと
オーガニックのハチミツをプラス
やさしく香るしっとりとしたテクスチャー

人間生活学科協働

Fuji Balm フジバーム

先着 200 名様
寄附金額 2~3 万円コース

5 月に大学の藤棚より採取した
藤の花を使用したナチュラルバーム。
(株)セントモニカと人間生活学科
4 年生との産学協働で作られました。



2023 年日本プロジェクトマネジメント協会
優秀研究活動賞受賞



プロジェクトの様子はこちらからどうぞ

靴 いたがき



靴いたがき (ITAGAKI)
レザーパステース

寄附金額 5 万円コース

北海道の「ものづくり」
使うほど手に馴染む、
タンニンなめし革の艶やかで丈夫な一品。
本学のシンボルマーク入りです。

▶ご寄付の目的

ご寄付は教育・研究の整備を目的としていますが、下記のような事業に主に使用する予定です。

1. 奨学金の制度・拡充

来年度から給付型奨学金制度（キノフジ奨学金）の新設をする予定です。
今後も学生支援の一層の充実を図っていきます。

2. キャンパスや施設の整備

有意義で快適な学びを実現するための施設・設備の整備や、老朽化が進んだ
教育施設の改修・補強をしていきます。
また猛暑対策として冷房設備の充実を進めてまいります。

3. 教育・研究への支援

昨今、学校に求められる教育の内容も大きく変化しています。
ICT 教育やデータサイエンス・AI 教育の導入に向けた環境整備を図っていきます。

4. 藤学園 100 周年記念事業

藤学園 100 周年記念事業へ向け様々な企画やイベントを検討していきます。

▶寄附金申し込み総額のご報告

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
卒業生	4,476,000	3,577,376	2,919,000	2,066,000	2,805,000
保護者	750,000	675,000	640,000	360,000	390,000
旧教職員・役員等	410,000	465,000	1,613,000	175,000	140,000
教職員・役員等	855,473	318,884	2,753,587	769,376	621,753
その他	6,510,000	11,220,000	7,530,000	1,200,000	2,427,801
合計	13,001,473	16,256,260	15,455,587	4,570,376	6,384,554
2012 年からの総計					195,531,747

▶使用等のご報告

本年度から学生支援の一層の充実を図り、給付型奨学金制度（キノフジ奨学金）の新設を致しました。2022 年度は寄付金総計 6,384,554 円のうち、3,000,000 円をキノルド奨学金引当特定資産の積立金へ、残りの 3,384,554 円を資産取得引当特定資産の積立金へ充当することといたしました。

▶遺贈及び相続財産によるご寄付について

遺贈によるご寄附

近年、遺贈によるご寄付が社会貢献の一つになるということから関心が高まっています。便宜をお図りするため、本学では金融機関と遺贈による寄付の提携をしています。
遺贈をお考えの方には、本学と協定を締結している金融機関（北洋銀行又は三井住友信託銀行各本支店）からお手続きのサポートを受けて頂くことができます。詳しくは HP をご覧ください。

相続財産によるご寄附

相続財産によるご寄付につきましては、財産の相続税が非課税となる措置がございます。詳しくは本学 HP をご覧ください。

16 条キャンパス
中庭ローズガーデンより
～お花便り～



バラ クイーンオブスウェーデン



「イエスのみ心」の像と
バラ シャルダン・ドウ・フランス



バラ ビエドゥー

